

里庄町

-さとしょうちょう-



里庄町は国道2号やJR山陽本線が通る交通利便性の高いまちで、岡山・倉敷、福山都市圏に近接し、浅口市・笠岡市と隣接する恵まれた環境を持っています。こうした環境を活かし、ベッドタウン、ものづくり産業のまちとして自主・自立のまちづくりを推進しています。地域経済の発展、雇用創出、魅力向上、コミュニティ活性化等に取り組み、持続可能なまちづくりを推進しています。



目指すべき将来像

**子どもの元気な声が響き
みんなの笑顔があふれるまち**



実現のための5つの基本目標

1

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

2

魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する

3

地域の経済を振興し、安心して働ける環境づくり

4

**町民が活躍し、豊かな暮らしを実現するとともに、
時代に合った地域社会を育む**

5

**デジタル技術の活用により、地域課題を解決し、
持続可能な地域へ成長する**



第2次里庄町まち・ひと・しごと創生推進計画

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄附を募集しています。

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚支援、妊娠期から出産・子育て期までを切れ目なく総合的に支援できる体制を構築するため、保育士の確保等の保育体制やサービスの充実に取り組み、親子が安心して暮らすことのできる環境整備を進めます。また、子どもが心豊かに育つまちを目指し、発達段階に応じた教育や多様な学びの場が提供される環境づくりを進め、これから時代に求められる非認知能力を育てる教育を推進していきます。

◎具体的な事業：町独自の出産支援金の支給、こども家庭センターによる子育て支援、図書館の充実 等

★アピールポイント

切れ目ない子育て支援と教育充実により未来を担う子どもに安心を届けます。



魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する事業

住宅地の開発促進や居住環境の改善に努め、本町の魅力となっている総合的な住みやすさの充実を図るとともに、町内外への積極的な情報発信を行います。併せて、ふるさと納税制度等を活用し、町内企業の商品等の魅力を発信することで、関係人口の創出・拡大に努めます。

◎具体的な事業：タクシー利用の促進、グルメプロモーション事業の推進、観光PR活動の推進 等

★アピールポイント

住環境の整備と魅力発信により選ばれるまちとして新しいつながりを広げます。



地域の経済を振興し、安心して働く環境づくり事業

地域経済を支える若者や、元気な高齢者や子育て期の女性等、潜在的な人材の就労を促進するとともに、誰もが自己実現に取り組めるよう、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革、男女共同参画等の施策を推進します。商業・工業・農業の分野においては、資源の新たな活用方法やイノベーションを生み出す産業活動を促進するとともに、農産物のブランド化や農商工連携による商品開発等の取組みを支援します。また、事業者の主体的な参加や事業者間の連携を図りながらイベントやプロモーション等の取組みを推進します。

◎具体的な事業：農業の担い手の育成・確保、地元企業への就職の促進、産業文化祭等のイベント開催 等

★アピールポイント

多様な働き方と産業活性化により、誰もが地域で輝ける環境を実現します。



町民が活躍し、豊かな暮らしを実現するとともに、時代に合った地域社会を育む事業

地域共生社会を実現するため、すべての町民が里庄町に愛着を持ち、地域の暮らしを自分たちの手で良くしていくとする、シビックプライドによる取組みを推進します。お互いに支え合うことのできる地域福祉推進体制の充実に向けて、ボランティア等と連携した地域活動等の振興を図るとともに、すべての人が地域社会の中で暮らせるよう、福祉サービスの充実や理解の促進に努めます。

◎具体的な事業：防災訓練等の実施、防犯カメラの普及、ボランティアや地域支援センター等の育成 等

★アピールポイント

地域福祉と共生の仕組みで支え合い、安心して暮らせるまちを育てます。



デジタル技術の活用により、地域課題を解決し、持続可能な地域へ成長する事業

デジタルの力を活用した地方創生や誰もが便利で快適に暮らせるまちづくりを目指して、デジタル技術を活用したDXを推進し、本町の個性を生かしながら、産業や教育、行政運営等様々な分野において地域課題の解決と魅力の向上を図るとともに、デジタルデバイド対策を進めます。

◎具体的な事業：防災アプリ・子育て支援アプリの活用、公共施設の公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備、パソコン・スマート教室の開催、教育分野のDX化 等

★アピールポイント

デジタル技術の活用により便利で快適な暮らしと地域づくりを進めます。



重点
施策

防災・地域安全対策事業

災害対策
防災

現状・課題

里庄町では、防災意識の向上を図るため、出前講座の実施、防災ハンドブック、防災マップの配布や、広報紙、ホームページ等の更新・活用により積極的な広報活動や、災害用備蓄品の確保や自主防災組織の活動支援を行っています。

今後、豪雨・地震など複合災害に備え、誰もが安心して避難生活を送れるよう、災害用備蓄品のさらなる充実を図ること、消防団員の資機材の充実が喫緊の課題であり、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

事業の目的・内容

避難所の生活環境の改善を図るため、災害避難所用間仕切り及び災害用トイレの整備等、避難所生活が長期化した場合の避難者のプライバシー確保や災害関連死の要因ともなる排泄等に関連した資機材の整備を行っています。

また、世代のニーズに合った食料や物品の確保、アレルギー対策にも目を向けた準備を進め避難者の安全・安心の確保に取り組んでいます。

重点
施策

子育て支援事業

子ども
子育て支援

現状・課題

本町では、令和元年までは人口の流入もあり、人口は増加傾向でしたが、令和2年以降は全国と同様に自然減の傾向へと変化しています。持続可能なまちを維持するためには人口の自然減対策は喫緊の課題であり、子どもを産み、育む若い世代への支援に重点的に取り組むことが求められています。

また、子ども一人ひとりを大切にしたきめ細やかな教育を推進し、非認知能力の育成、基礎的・基本的な学習内容の定着と家庭環境の充実に取り組んでいます。

事業の目的・内容

「親育ち・子育ち みんなで成長するまち 里庄」を基本理念に、地域全体で子育てを支援するため、こども家庭センターを設置し、相談支援体制を強化しています。

また、妊婦や3歳以下の子どもがいる世帯にはタクシー料金の助成を行い、健診や通院時の負担軽減を図っています。さらに、幼稚園・小学校への生活支援員配置や中学校体育館の改修など、教育環境の充実にも取り組んでいます。



重点
施策

仁科芳雄博士生家修復プロジェクト

歴史・文化振興

総事業費

250,000,000円

現状・課題

「仁科芳雄博士生家」は、「日本の原子物理学の父」と称される仁科芳雄博士が幼少期を過ごした歴史的建物であり、昭和57年に修復されて以来、一般公開しています。しかし、修復から40年以上が経過し、屋根瓦の損傷や雨漏りの危険、さらにシロアリ被害



などにより、安全性が著しく低下しています。特に離れ家は被害が深刻で、現在は公開が困難な状況にあります。



このままでは建物の保存が難しく、博士の功績を顕彰し、科学教育の場としての役割を果たすことができなくなる恐れがあります。

事業の目的・内容

仁科芳雄博士の生家を修復し、次世代に引き継ぐことを目的としています。博士は、日本の原子物理学研究の礎を築き、現代科学の発展に大きく寄与した人物であり、その生家は地域の歴史的資産であるとともに、科学教育の拠点として重要な役割を担っています。修復工事は、建築当時の技法を用いて主屋・離れ・蔵・門の屋根工事や床壁の木工事を行う予定であり、令和8年度に設計着手、令和9年度の工事着手を目指しています。修復後は、博士ゆかりの品々を展示し、一般公開を継続することで、科学する心を育む場として活用します。



各事業のお問い合わせはこちら

里庄町 企画商工課
0865-64-3114

企業版ふるさと納税促進事業

中国銀行